

令和7年度第1回四街道市保健福祉審議会地域福祉部会会議録

開催日時 令和7年8月18日(月)午前10時～午前11時
開催場所 四街道市保健センター3階第2会議室
出席者委員 澁谷委員 沖山委員 岩谷委員 鈴木委員 中村委員
欠席者委員 佐藤委員 齊藤委員 松島委員 島田委員
事務局出席者 渡辺福祉サービス部長 大手福祉サービス部副参事
社会福祉課：飯泉課長 木村係長 深澤主任主事 新河主事
傍聴人 2名

——会議次第——

1. 開会
2. 部長挨拶
3. 部会長選出
4. 議題
 - (1) 第3次四街道市地域福祉計画の進捗状況及び基礎調査(市民アンケート、地域福祉関連団体アンケート、意見交換会)について
 - (2) 第4次四街道市地域福祉計画(骨子案)
5. 閉会

——会議概要——

1. 開会
(配布資料確認等)
2. 部長挨拶

3. 部会長選出

(四街道市保健福祉審議会条例第7条第3項に基づき、岩谷部会長を選出)

(四街道市保健福祉審議会条例第7条第5項及び第4条第4項に基づき、副部会長に鈴木委員を指名)

4. 議題

(1) 第3次四街道市地域福祉計画の進捗状況及び基礎調査(市民アンケート、地域福祉関連団体アンケート、意見交換会)について

【木村係長】

— 議題1について説明 —

【岩谷部会長】

これより質疑応答に入るが、事前に提出した意見等について事務局より説明がある。

【木村係長】

資料1の第3次四街道市地域福祉計画進行管理総括(案)について、全30件ご意見をいただいている。

まず、資料サイズ等に関し、読むのが困難とのご意見について、今後、資料の作成にあたって字の大きさ等を配慮し、作成・印刷を行う。

各事業の意見については、全体的な内容での回答を説明させていただく。

総括については、第3次計画において、評価を行うための指標等を設定していないことから、各取り組みに関する庁内担当所属の各事業の実施状況とその評価、課題を記載したところであり、各担当所属において、把握している実績の数値等の記載や、現状を含めた課題の記載に努めたが、実績等の記入が足りない点や、課題の記載が弱い点などのご指摘をいただいた。

いただいたご意見を踏まえ、今後、課題に対する取り組みの方向性などは、第4次計画において盛り込んでいくとともに、第4次の進行管理では、よりわかりやすい内容となるよう記載方法を工夫してまいりたいと考えている。

また、各担当所属にはご意見を共有し、事業の推進の参考とさせていただく。

次に、主な修正箇所を説明させていただく。16ページ民生委員・児童委員への支援、社会福祉課担当について、課題に活動支援や負担軽減を上げているが、それだけでなく担い手確保のための施策、行政としての広報や確保のための具体的な取り組みを進めることを課題として記載すべきとご意見をいただいた。このご意見を踏まえ、担い手確保のための広報等を「課題」に追記・修正させていただく。

17・18ページ事業者の育成・指導、市民の意向把握の推進、子育て支援課担当につい

て、課題に自課の所掌事務範囲外について出来ないことを「限られる」と記載しているのは良くないとする。所掌範囲外の部分については所掌する担当部署につなぐなど、協力して課題を解決するための努力を行うことを記載すべきとご意見をいただいた。このご意見を踏まえ、記載方法を改めて検討し、修正させていただく。

21ページ地域づくりを行う市民活動団体への支援、みんなで課担当について、大学等との連携をこれまで全く行ってきてないように思えることのご指摘を踏まえ、実際には、地域づくりの取り組みとして大学等との連携を進めていることから、記載を修正させていただく。

資料2 四街道市地域福祉計画策定のための市民アンケート調査について2件ご質問を頂いている。

2ページ調査概要から、回収件数1,038件の郵送回答とインターネット回答の比率はとご質問いただいた。それぞれの比率は、郵送回答が700件67.4%、インターネット回答が338件32.6%となる。今後、確定版の基礎資料作成にあたり、インターネット回答比率等を記載する。

4ページ回答者の年齢構成について、70歳代以上が40.3%では、市民アンケートの結果として適切なものか。また、これをもとに計画策定することは適切なものか疑問であることご意見いただいた。今後、回答者年齢によるクロス集計により、設問ごとに各年齢層の回答割合を記載し、各年齢の意見がわかるように基礎資料として整理し、計画策定の参考として、活用していく予定である。また、年齢構成の偏りがあることを踏まえ、より効果的な手法がないか、あらためて、コンサルとは協議を進め、次回以降に活用できるようにしてまいりたいと考えている。

【岩谷部会長】

意見はあるか。

【澁谷委員】

資料2の4ページ、回答者の年齢構成について、事前意見でも述べたが、審議会に携わって以来、計画策定の度に、毎回同じ指摘をしている。調査のため、意図的に操作することができないことは分かっているが、若い方の回答を増やさないといけない。人口の年齢構成も高齢化率が高いため、回答者も多くなる。仕方がないことだと分かっているが、アンケートの結果を反映して計画を策定することを考えると、子どもから高齢者まで満遍なく意見や要望を聞きたい。ぜひ次回の計画では、回答者の年齢構成を均一に近づけるよう調査手法等検討いただきたい。

【岩谷部会長】

澁谷委員の意見はもっともであり、他市の事例等を研究する等、次回計画策定時に活かしていただきたい。

【中村委員】

資料2の17ページ、問24 保護司について「名前は知っている、聞いたことがある」が40.7%と最も多いが、保護司はなかなか手がない。刑務所や少年院を出た者を更正して世の中に送り出して、保護観察を毎月行い、面倒を見る活動をしているが、認知度が低い。

成年後見制度について、知らない人が多い。利用者数が増えていないことが課題であるが、必要とする人が適切に制度を利用できるように周知啓発を推進する必要があると思っている。成年後見制度のみならず、権利擁護支援が必要な方が、これまでと同じ生活を続けていくことができるよう支援体制づくりを行うことが大切である。

【沖山委員】

資料1の27ページ更生保護関係団体への支援について、評価の根拠が「活動を支援した」と記載してあるが、具体性がなく、どのような取り組みを行ったのか全く分からない。また、17ページ「福祉サービス第三者評価制度」の周知、高齢者支援課についても、どのように周知を行ったのか記載がなく、具体性がない。課題についても「特になし」と記載されている。十分に取り組むことができた事業は、実績として数値等の具体的に取組んだ内容が書かれているため、この2事業についても同様に具体的な取り組み内容を記載していただきたい。

【岩谷部会長】

具体的なことが書かれておらず、根拠として薄弱であると読めてしまう。また、課題について「特になし」と記載されている事業及び評価の根拠に具体性がない事業は検討の上、担当所属と調整するように願います。

【中村委員】

資料1の27ページ更生保護関係団体への支援の課題が「特になし」と記載されていることについて、沖山委員の意見と同意見であり、検討していただきたい。

【岩谷部会長】

以上の意見を踏まえて、事務局は、計画作成を進めていただきたい。

(2) 第4次四街道市地域福祉計画（骨子案）

【木村係長】

ー 議題2について説明 ー

【岩谷部会長】

これより質疑応答に入るが、事前に提出した意見等について事務局より説明がある。

【木村係長】

「成年後見制度」に関する課題や施策等の、計画における位置付け等についてご意見をいただいている。

22ページ「課題3 地域活動の担い手不足」において、対応の方向性として「成年後見制度の利用促進」が記載されており、「担い手不足の対応として、成年後見制度の利用者を増やす」と読み、課題と対応が関連してないのご意見をいただいている。また、27ページ「基本目標3 地域を支える活動の担い手づくり」の基本施策として「成年後見制度の促進」と記載されており、同じく、「担い手を育成するために成年見制度を推進する」と読める。2点のことから、成年後見制度を推進するだけでは問題の軽減にはならず、成年後見制度と日常生活自立支援事業をセットにしないと権利擁護事業は展開できないことから、提案として、基本施策は「福祉サービスや消費契約の利用支援」。その基本施策として、①成年後見制度、②日常生活自立支援事業の2つ。これを基本目標3ではなく、基本目標2か基本目標4に位置づける、とのご意見をいただいた。

市としては、ご意見を踏まえ、今後、素案において、22ページの「課題3 地域活動の担い手不足」における対応から「成年後見制度の利用促進」を削除するとともに、27ページ計画の体系における、基本施策「成年後見制度の促進」の位置づけを、基本目標3から基本目標2へ修正し、盛り込む内容等を改めて検討してまいりたい。

【岩谷部会長】

意見はあるか。

【澁谷委員】

事前意見の回答について、今回の地域福祉計画が、成年後見制度利用促進基本計画を組み込んでいることは承知しているが、成年後見制度は制度の名前であり、強調し過ぎているのではないか。あくまで権利擁護の中に制度として、成年後見と日常生活支援事業がある。

目標や基本施策を作るときには、政策の目的や課題は権利擁護にあり、成年後見制度はそのための方法の一つであることを認識して検討いただきたい。

【岩谷部会長】

地域福祉計画の中では、成年後見制度の利用促進をすとしても、どのような施策を展開していくかということをも市民の目線で考えると、福祉サービスの向上等が出てくるのではないかと考えられる。計画を策定する上で、言葉の使い方を含め、本来の目的を認識の上、考えていただきたい。

【沖山委員】

27ページ計画の体系について、基本目標2「(4) 地域づくり支援」は、基本目標1に位置づけるものではないか。基本目標2に位置づけるのであれば、別の表記を検討いただきたい。「(3) 参加支援」についても、だれの参加を支援するものなのか言葉だけでは、分からないため、市民にとって分かりやすい言葉で書いていただきたい。

22ページ課題への対応、課題2「情報提供の充実と困りごとに対する支援」と課題4「暮らしやすいまちづくりと多様性への理解促進」について、これは課題ではないのではないかと表現の仕方を検討いただきたい。

【岩谷部会長】

表現の仕方を含め課題の書き方を検討いただきたい。また、行政目線での表記になっているため、市民目線での計画策定をお願いする。

【岩谷部会長】

以上で、全ての議事等は終了したが、他になければ議事は終了とする。事務局から連絡事項をお願いする。

6. 閉会

【木村係長】

次回の部会の開催は11月に計画の素案についてお示しすることを予定している。会議開催の1か月前には開催通知を送付する。

【岩谷部会長】

以上で令和7年度第1回四街道市保健福祉審議会地域福祉部会を終了とする。